



あさお インフォメーション Information

保護者・地域の皆様へ
神奈川県立麻生養護学校
令和3年3月16日発行



緊張感と不安感の中、かつて経験したことがない状況とさまざまな制限を受け止めながら1年間の教育活動を行った1年でした。

教育課程の精選や授業体制の工夫は、これが正解！という明確な答えはないと思います。その時点で最善と考えられることに全職員が取り組んできましたが、まだこれらの取り組みの振り返りができる状況ではありません。

ある保護者の方から、「この状況だからこそ、新たにできることを見つけることができた、と考えましょう。前向きにとらえましょう。」と書いていただいた時、とても励まされました。学校を見守り、教職員と共にこの状況に立ち向かってくださっていたことを実感しました。

保護者の皆様に御理解いただき、支えていただいて年度末を迎えることができましたこと、心から感謝申し上げます。

校長 片平 弘美



今年度を振り返って

A小・・・令和2年度はあおば支援学校が開校になり、低学年3名、高学年7名の子ども達でスタートしました。新型コロナウイルスの対応のため、校内外の交流、校外学習も行えずさみしい面もありましたが、一方で、落ち着いた授業に取り組める時間が増え、子どもたちも確実に成長できたように思います。9月の夏休みを取り返す水遊び、11月の巨大芋のとれた収穫、12月の映像を使った音楽、そして日々の個別課題学習も含めて、例年以上に子ども達は授業から学べたように思います。また、ご家庭の協力をいただいて、感染防止が続けられたことも誇らしく感じています。(岩田)

B小・・・今年度は、かわいい1年生7を名迎えて計38名のB小学部でした。臨時休校や分散登校、そして授業参観、プールや校外行事の中止など例年とは違う学校生活になってしまいました。ただ、子どもたちがコロナに負けずに元気に過ごすことができ本当に良かったです。そしていつもとは違う環境の中で、マスクをつけ、手洗い、手指の消毒など上手にできるようになったことにたくましさを感じました。また、6年生は10月に1泊で八景島に修学旅行に行き小学部最後の思い出作りができました。学校生活はいつものように教室だけではなく廊下やプレイスペースにも元気な声や笑顔があふれる日々でした。その中でみんながそれぞれの課題や学習に取り組み、色々なことにチャレンジしたり今までできなかったことができるようになったり一人ひとりが成長した一年間になりました。4月から元気に笑顔でチャレンジしていきましょう！(飯田)

A中・・・今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校は臨時休校になったり、行事を延期や中止にしたりするなど、過去に経験したことのない1年となりました。そんな中でも、子どもたちは学校再開後に元気に登校し、グループ学習では、石けんやバスボムづくりを一生懸命行い、ハンドメイドのステキな製品に仕上げ、日ごろお世話になっている方々に、感謝の気持ちを込めて渡すことができました。☆柿祭のステージ発表が中止になりましたが、A中では音楽やLHRの時間で「スイミー」を音楽劇で取り組み、プチステージ発表を行いました。それぞれ個性溢れる演技がとても印象的でみんな満足げな表情をしていました。コロナ禍の中でも、保護者の皆様や多くの方々のご尽力により1年間笑顔と笑い声の絶えないA中学部でした。(本間)

B中・・・令和2年度は、やはり新型コロナウイルスについてのことが真っ先に思い浮かびます。2ヶ月以上に及ぶ休校から分散登校がありました。修学旅行は実施できたものの、校外学習・遠足・宿泊学習など例年実施していた行事が中止または内容変更となり、生徒のみなさんにも戸惑いの色が伺えました。

しかしそんな中でも、季節が感じられる授業、作業学習、なかまとトライ、体育大会、国語・数学、音楽、美術など、ふだんの授業の中で生徒のみなさんの成長が感じられる場面をたくさん見ることができました。新型コロナウイルスの感染拡大がいつか収束し、いつも通りの学校生活が送れることを願いつつ、また来年度も頑張っていきましょう！(鈴木)

A高・・・感染症拡大の影響で残念ながら校外行事の中止・規模縮小もありましたが、校内の活動については対策を十分に取しながら、充実した学習活動を行うことができました。授業の中でコロナウィルスとは何かを学び、どのようにしたら感染を防ぐことができるのか皆で考えました。紙を使ってマスクを作ったり、手作り石けんを作ったりして体験的な学習を行うこともできました。例年6月と10月に行っている校内実習も、今年度は10月実施のみになりましたが、皆で協力合せて模擬会社を運営し、紙すきの仕事に専念することを通して、最終学部として確実に成長できた一年だったと思います。(栗原)

B高・・・6月から分散登校が始まると、マスクの着用、手洗い、消毒、人との適切な距離、食事のときは会話を慎むこと……生徒は新しい生活様式の一つひとつを身につけながら、学校生活をスタートさせました。行事のいくつかは実現できませんでしたが、マラソン大会の代替として行ったタイムトライアル長距離走では、自己の記録に挑戦し、第1回生徒会選挙では、感染対策しながらの選挙運動や投票に落ち着いて取り組むなど、制限された活動の中でも、一所懸命に頑張る姿がたくさん見られました。(野崎)

分教室・・・「新しい生活様式」からスタートした令和2年度。社会で起こっている状況に対応し、「今できること」を大切にしながら過ごしてきた1年でした。度重なる活動の変更や、感染症対策のための制約もあった中ですが、よく頑張ってくれました。自分の体調管理について改めて見直したり、ソーシャルディスタンスをとおして人との関わり方を考えたりする学習として取り組むこともできました。行事は行えなかったものが多かったですが、日々の学習、職業などでは目標を立て、どうしたらできるかを考えて取り組みました。苦手なことにも向き合って、自らを成長できるように努力したことは、これからの日々につながる力になっていくと思っています。(中村)

訪問・・・(施設訪問) 臨時休業のためスタートが遅れましたが、久しぶりに学校に来た時の皆さんの嬉しそうな様子が印象的でした。屋上で秋の植物を収穫、ポッチャ大会、オーケストラ、野菜スタンプ等々、クラスみんなで色々なことを学びました。今年度は本校へのスクーリングができませんでしたが、本校の友だちとの手紙やビデオレターのやりとりをして、いつも以上につながりを感じることができました。例年とは違う年でしたが、特別なことを経験し学んだ1年となりました!(土谷)

訪問・・・(在宅訪問) 6月から授業が始まり、感染症対策をしながらご家庭で授業を行いました。新しい担任とも、それぞれにコミュニケーションをとりながら楽しく授業に取り組むことができました。特に☆柿祭では、おうちでのスペシャルバージョンで全学部の作品を動画や写真、一部作品の実物をお借りしたものに触れ、作品鑑賞を楽しみました。スクーリングは見合わせとなる中、お友だちとの手紙やビデオレターのやりとりやリモート学習などを通して、今年度ならではの交流を行うことができました。(佐々木か)

お知らせ

- 令和2年度修了式・離任式は、3月25日(木)です。校内放送にて、修了式・離任式を行います。離任者につきましては、3月24日(水)にお知らせを配付する予定です。
- 令和3年度の始業式は、4月5日(月)、下校時刻は11時30分です。
- 学年末学年始休業中の連絡は、平日は学校へ、休日および急を要する連絡は学校携帯にお願いします。

卒業 進級
おめでとう
ございます。



社会人生活、新
学期を元気に迎
えましょう。

